

自民党・特別委が豪雨被災地を視察



伊豆山地域の被災状況

支援の必要性確認

自民党・災害対策特別委員会（今村雅弘委員長）は7日、豪雨により被害を受けた静岡県熱海市や沼津市を視察した。大規模土石流が発生した熱海市伊豆山地区や増水で損傷した黄瀬川大橋（沼津市・清水町）での被災状況について説明を受け、行方不明者の捜索からインフラの復旧に至るまで切れ目のない支援が必要であることを確認した。

視察には同委員会の今村委員長を筆頭に佐藤信秋参院議員、伊藤忠彦衆院議員、足立敏之参院議員が参加し、地元首長らから行方不明者の早

熱海市土石流災害

期発見や被災者支援、道路・水道の復旧などの要望を受けた。伊豆山土石流災害への対応に当たっている大館建設を始めとする地元の建設業者にも面会し、尽力に謝意を伝えた。

視察後に取材に応じた足立議員は、「（土石流被害は）国と県がタッグを組んでメカニズムの解析をしなければならぬ。今回のように人家が連串している地域でのケースは多くなく、調査をした上でしっかりとした対策を打つ必要がある」と強調した。

地元から要望のあった今後の復旧・復興にも触れ、「災害を踏まえた財政措置が必要となる」として、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策と別枠で「緊急時の対応として補正予算が必要だ」と述べた。